

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後デイサービス桜の木		
○保護者評価実施期間	R6年12月4日		～ R6年12月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36名	(回答者数) 32名
○従業員評価実施期間	R6年12月4日		～ R6年12月26日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが安心感や楽しみを持って通所され、事業所の支援に満足して頂いている。また事業所の職員から共感的に支援をされていると感じて頂いている。	子どもが安心して楽しく過ごせることを1番に考えています。子どもや保護者様からのお話をじっくり伺い、気持ちに寄り添った支援が出来るように意識しています。	今後も些細なことでも職員全員で共通理解を図り、お一人お一人に寄り添った支援を行います。子ども達が安心して楽しく通って頂けるよう環境設定や活動内容を考えて行きます。
2	日頃から子どもの状況を保護者様と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解が出来ている。	連絡ノートや送迎時に1日の様子など詳しくお伝えしています。何かあった際にはいつでも連絡して頂けるよう体制を整えています。6ヶ月に1回の懇談の際には学校やご家庭での様子を詳しく教えて頂き、こちらでのご様子も細かくお伝えさせて頂いています。	保護者様だけではなく、関係機関との連携も積極的に行い、情報共有や共通認識が出来るように連携を図って行きます。
3	活動プログラムが固定化されないように工夫されていると感じて頂いている。	新しい活動内容を組み込んだり、子ども達からのリクエストプログラムを聞いて設定しています。季節感を感じられるプログラムや集団遊び、訓練、余暇活動、野外活動など取り入れるように設定しています。	子ども達や保護者様からのご要望を伺い、出来る限りで活動内容に取り入れるように考えて行きます。これまでに取り組んでいなかった活動にも取り組んでいけるよう考えて行きます。

	事業所の弱み(※) と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がほとんどない。	年に一度夏の時期に開催している夏祭りでは地域の方や子ども達にも参加して頂いて関わりを持つ機会がありますが、平日などは放課後の時間だけでは交流を図ることは難しさがある。長期休暇にしてもこれまで児童クラブや児童館との接触がないため難しさがある。	地域の児童クラブや児童館についてどのような所があるのかを調べて、交流を持ちたい旨を伝える連絡から始める。平日は時間的に難しいので土曜日や長期休暇に交流を持てるようにする。
2	保護者会などの開催により、保護者同士の交流の機会が設けられる機会や、兄弟向けのイベントや兄弟同士の交流を設ける機会がない。	保護者会を開催するにあたって日時や場所の確保、当日の職員の確保など課題がある。毎年の課題ともなっているので、現在保護者会開催に向けて日時など検討している。兄弟同士の交流については保護者様より要望も伺っていないので今後の課題となる。	保護者会に関しては例えば年に何回と時期を予め決めておいて、定期的に開催出来るように改善を図ります。兄弟同士の交流については保護者様にも伺いながら要望があれば開催出来るように努力したい。
3	家族に対してペアレントトレーニングや家族も参加出来る研修会や情報提供の機会がない。	保護者様の方から相談があったときに個別での対応や情報提供は出来ているが、保護者様に集まって頂いてのペアレントトレーニングや研修会などは行っていない。	事業所の方から発信していくことと、保護者様からのご希望に合わせて、個別でも会としてもペアレントトレーニングや研修会、情報提供の機会を設けていけるよう改善を図ります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名

放課後デイサービス 桜の木

公表日

2025年2月10日

利用児童数

R6年12月現在 36名

回収数

32名

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	30			2		今後もお子様が活動したり、ゆつくり過ごせるスペースの確保に努めて参ります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	27			5		「わからない」というご意見も頂いていますので、再度職員紹介などでお伝えして参ります。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構成化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	28			4		今後もお子様にわかりやすいよう活動内容ごとに構成化された環境作りに努めて参ります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30			2		支援終了後に清掃・消毒を徹底しております。今後も引き続き快適に過ごして頂ける環境作りに努めて参ります。
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30	1		1		今後も保護者の方や関係機関と情報の共有を行い、お子様の特性や気持ちの理解に努めて参ります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	31			1		支援プログラムに基づき日々のプログラムを設定しています。個々に応じた支援内容を考え提供させて頂いています。
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	32					今後も懇談や送迎時に保護者からお子様の様子などお伺いし、お子様の理解に努めて参ります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	31			1		今年度4月より個別支援計画書に「本人支援」（5領域含む）「家族支援」「移行支援」の項目を設定し、その支援内容を元に日々の療育に努めています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	32					今後も計画書に沿った支援を継続して参ります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	32					今後も様々な活動を取り入れ、子ども達からの意見を取り入れたり、固定化しないように工夫して参ります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	8	2	5	17		以前から課題となっている項目ではありますが、時間的に難しさもありません。今後改善していけるように努力して参ります。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	32					今後も契約時にわかりやすい説明を心掛けて参ります。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30			2		半月に1度の懇談時に個別支援計画書を提示しながら説明させて頂いています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18	1	2	11		現在まで実施できていないため、今後実施していけるよう努力して参ります。
保護者への説明等	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	32					今後も保護者様と連携を取りながら、お子様の状況について共通理解に努めて参ります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	31			1		半年に1度の懇談や送迎時、連絡ノートにてご相談をお受けし、いつでもご相談頂ける体制を作っています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	32					今後もお子様や保護者様に寄り添った支援ができるよう努力して参ります。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	2	2	15		コロナ禍より保護者会の開催がしばらく出来ていませんでしたが、現在計画しております。懇談時などにご兄弟様のご相談もお伺いさせて頂いています。
	19 子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	31			1		営業時間内であればいつでも直接お電話頂いたり、事業所にお越し頂いて、ご相談や申し入れをお伺いできる体制を作っています。ご相談や申し入れに対してはすぐに職員間で共有し早い対応を心掛けています。
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32					今後も情報伝達についてはより良い案を考え努力して参ります。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	29			3	LINEが利用できるのごく便利。	昨年よりLINEでの連絡手段を取り入れ、保護者の方にはお迎え時間の変更などの連絡に使って頂けて良かったです。
	22	個人情報取り扱いに十分に留意されていると思いますか。	31			1		今後も個人情報の取り扱いには十分注意して参ります。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	31			1		各マニュアルを策定し、訓練も行っていますが、保護者様への周知については今後定期的に発信していけるよう改善を図ります。
非常時 への 対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	28	1		3		プログラムに避難訓練を組み込んでいます。どの曜日のご利用者様にも参加して頂けるよう曜日をランダムに設定しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	31	1				今後も外出時や長期休暇時など安全計画を立て、安全面を第一に支援を行って参ります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から遅やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	28				4	怪我等発生時にはすぐに保護者様にご連絡させて頂き、詳細をお伝えさせて頂いています。
	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	32					優しい先生ばかりで安心している。
満足 度	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	31			1	先生・仲間が大好き。 プログラムが楽しい。	今後も様々な活動を楽しんでいけるよう色々な取り組みを考えて行きたいと思えます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	32				支援により成長を感じる。	今後も個々に応じた支援を考え、ストレスフリーな環境で楽しく過ごして頂けるよう環境を整えて参ります。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	放課後デイサービス 桜の木		公表日	2025年2月10日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		規定基準に基づいて、指導訓練室等のスペースを確保しています。しかし、学年の大きいお子様が多かったり、車椅子のお子様がおられる日はスペースの確保が難しく狭く感じる。全ての活動が同じスペースで行われていることも気になっている。	天井も高く、十分なスペースはあるが、利用人数が多い際は狭く感じる時もあります。子ども達のその時の状況に合わせて、密にならないようカーテンでの仕切り、個室の利用等、有効活用できるよう工夫して過ごす様に配慮していきたいと思います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	10		指定基準以上を満たした職員を配置しているが、送迎の時間帯は指導室の職員が少なくなることもある。日によって職員数が少なく人手が足りないと感じることもある。	保育士、教員免許、介護福祉士、自閉症スペクトラム支援士など様々な資格を有した職員が勤務しています。また全ての職員が子ども達の発達段階ごとの障害の特性などの研修受講により知識・技術の向上に努めています。送迎時間帯の職員数の不足は課題となっている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		玄関から室内までの段差がない為、車椅子利用者等の安心安全に配慮出来ている。ワンフロアで分かり易い構造になっており、バリアフリーが出来ている。トイレは狭いので車椅子での介助のしにくさが問題となっている。全介助は難しい。	室内は全てバリアフリーになっており、お手洗いの内にも手すりを設置。車椅子の方、歩行が困難な方にも通しやすい空間となっていますがトイレの狭さが介助時の課題となっている。指導訓練室内は事故防止の為、手すりの設置はありません。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		玄関から部屋全体を見通せる造りになっており、開放感がある。毎日子ども達が退所後掃除、消毒を行い、感染対策もしている。季節に合わせてラグを使用し、こちらも毎日消毒を行っている。清掃についてはマニュアル化し全職員が周知しています。	今後も感染対策に努め、子ども達がストレスなく、安心して過ごせる生活空間の確保に努めています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		大人と一緒に入れるスペースのある個室があるので学習など状況に応じて使用できるようになっています。子どもが一人で使用する際にも、ドアに小窓がついているので外から様子を見たり安全の確認を行っています。	おもちゃや荷物を置くこともあり、すぐに使用できない時もあるので、いつでも子どもが使用したい時に使用できるよう個室内の環境を整えます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10		利用者様、受け入れ開始前のミーティングで前日の様子や、本日の動きなどを共有している。引き継ぎノートで前日以外の様子も共有出来ている。	今後も日々、目標設定と振り返りを行い、ミーティングで話し合われた改善事項等は職員の共通理解を図る為に記録し、全職員は共有する様に努めています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		毎年、保護者様向けの評価表にご記入頂き、業務改善や子どもの支援に役立てています。なお評価の結果はHPにて公表させて頂いています。	業務改善にまで至っていない項目もあるので今後も検討を重ね改善を図ってまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		毎日のミーティングでの意見交換や業務前、業務後に意見を聞くことで職員の意見の把握が出来るように努めています。その意見を元にミーティングで反映し、業務改善に繋がっていくように全員で話し合いを行っています。	ミーティングや業務の前後に意見交換はしているが、「意見を把握する機会」というのは設けていないため、限られたミーティングの時間内で全職員の意見を把握出来ているわけではないので、そういった機会を作っていくように努めます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	2	現在、第三者による外部評価は行っておりません。	今後の課題として検討致します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		事業所内の研修機会を積極的に設け、日程を年間で組み、予定に沿って行っている。新人研修も行い職員の資質向上を図っています。	従来から在籍している職員は元より、新しい職員に対しては基礎から学んでいける様に内容を細分化して時間を掛けて行いました。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		お子様の得意・不得意や保護者様からのご要望を伺い、日々様々な活動を組み込みプログラムを作成しています。R6年度4月より5領域の視点を含めたプログラムを作成し、HPにて公表予定。	5領域の視点を含めた総合的な支援を今後も考えながらプログラムを作成していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10		年2回の懇談でお子様の様子を詳しくお聞かせ頂いています。個別支援計画とその評価に基づいた課題点等をお話する事でニーズに合った課題を洗い出し、目標を見直し、設定をしています。	懇談では対面でお話しをさせて頂いたり、電話での懇談も行い、ほとんどの方とお子様の現状や成長、課題についてお話しをする事ができました。その内容に応じた計画書の作成を行いました。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		初回の計画書の作成は児童館が行いますが、全職員に確認を行ってもらい、日々の子どもの様子や新たな課題や課題点などを話し合い、子どもにとってより良い支援が出来るよう計画書に反映しています。	毎日の他の業務があるので、全職員で検討する時間を持つことが難しい場合がある。全員で検討できる時間を作っていくよう改善を図ります。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		療育に当たる全職員がサービス計画に沿った支援を実施しております。日々の保護者様との連絡帳でのやりとりの中からその都度話し合い支援を考えております。	今後も保護者様の意向を伺い、お子様の様子を見ながら成長や環境の変化に柔軟に対応していくことにより一層努め、丁寧にわかりやすく療育、支援していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		子どもの様子を日々丁寧に観察し、その時の子どもの状況に応じた支援を提供しています。子どもの行動は日々変化があるため、その時ご本人の気持ちや調子を見ながら支援の方法をその都度考えています。	職員間の口頭や記録での情報共有に留まっており、アセスメント作成まで至っていないので改善を図ります。

16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		R6年4月より、個別支援計画書を提供すべき支援の5領域を含めた内容に変更し、「本人支援」「家族支援」「移行支援」に項目を分けて、ねらい及び支援内容を記載しています。ご本人の様子や保護者様のご要望をお伺いした上で、個々に応じた支援内容に設定しています。	「地域支援・地域連携」については記載できていないため、地域の学校や地域の活動などに参加して行けるよう改善を図ります。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		担当職員がプログラムを立案し、療育に関わる全職員にプログラムの内容、個別の狙い、アプローチの仕方を説明し、役割分担等も打ち合わせをしています。正職員が立案しているため、時間的に他の職員からの意見の取り入れが難しい所である。	実際にプログラムをした後で携わった職員に子ども達の活動内容を聞き取り、改善点等を話し合い、個々の支援に繋がるようなプログラムを立案しているように努めます。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		同じプログラムでも内容を変えたり、個々に応じた内容を提供をするなど、おこ様が飽きないように楽しく取り組める内容を提供しています。新しい教材を取り入れたりして、固定化しないようにしています。子ども達からの案やリクエストも反映しています。	子ども達から発展した遊びをプログラムに入れたり、これからも楽しく過ごせるよう活動の幅を広げられるように工夫して続けていきます。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10		おこ様の現状の状況に合わせて、特性を踏まえた個々の課題、社会性などの集団での課題を組み合わせて、個別支援計画を作成し支援しております。	おこ様の日々の成長や環境変化により個別、集団での目標内容が変化していくことが多いため、今後もそれぞれの状況に合わせた計画を作成していきたいと思います。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		おこ様が来る前にミーティングを行い、子ども達の様子を情報共有しております。また、その日の支援内容や役割などについても確認を行っています。	短縮授業、土曜日、長期休暇除いて毎日ミーティングを行い、子ども達の様子を職員間で情報共有しています。ミーティングが行えない期間に関しては引き継ぎファイルを作成し、全職員が子ども達の様子や本日の内容を確認し情報共有出来るように徹底してまいります。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10		支援終了後、おこ様の様子が気になった点、送迎中の様子、送り時の保護者からの要望等、管理責任者に報告してから終了するようにしています。翌日のミーティングで職員間での協議や共有化をしています。	送迎時間等の関係で全職員による打ち合わせは困難な為、その日にあった事をケース記録に記入したり、管理責任者に報告し、緊急事項を除いては翌日に話し合いするように努めてまいります。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		支援終了後、その日の支援内容をケースに記録しています。支援に関して翌日のミーティングで取り上げ、全職員で支援の検証をし、改善策を練り、共通理解の元、連携して支援に当たっています。	引き継ぎ、当日の様子等を前日出勤していない職員に引き継ぎ、漏れがないようにしっかりと記録し、振り返りを行う事で、よりよい支援が行えるよう続けていきます。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		管理責任者が担当の相談支援員と連絡を取ったり、実際におこ様の様子を見て頂きながらモニタリングを行い、年に2度の保護者様との懇談で計画の見直しを行い、新たな計画を立案しています。	半年に1度にとらわれず、環境やおこ様の様子が大きく変わった場合などは、その都度話し合いを持ち、計画を見直ししていきます。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10		「自立支援と日常生活の充実のための活動」「創作活動」「地域交流の機会の提供」「余暇の提供」の4つの基本活動を組み合わせ支援を行っています。日々の生活を基本に創作活動や余暇活動では季節を感じられる活動も取り入れて支援しています。	「地域交流の機会の提供」に関してはボランティアの受け入れしか出来ていないので、学校や他事業所、地域の活動に参加するなど、地域との交流を図っているよう改善を目指します。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10		子ども達の発言や意思の表出を大事に支援しています。発語が難しいおこ様にはイラストで選ぶ練習や、2択に選んでもらうなど、それぞれに合った方法での意志表出や自己決定が出来るように支援しています。	今後も個々に応じた方法で自己決定の力がついていくように、様々な方法を模索し支援方法を考えます。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	10		サービス担当者会議には管理責任者が出席し、対象児童についての話し合いを行っています。また、会議に参加するに当たり指導員と意見交換を行ってから出席するようにしています。	サービス担当者会議には児童発達管理責任者が出席するようにしていますが、16時頃が多く、室内に子ども達がたくさん利用している状態で直接支援を行う児童指導員が抜ける事は子ども達の安全が確保出来ないため、児童指導員の出席は難しい現状です。
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		利用者全員では無いが、連携している児童もいた。支援体制が整っているわけでは無く、関係機関からの要請で行う事がある。	今後連携して支援を行う体制を整えていけるよう検討します。
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10		送迎時に担任の先生と利用日や利用時間について連絡調整を行っています。その他、変わった様子などあれば情報を共有させて頂いています。緊急時は直接連絡をとるようにしています。	全ての学校と連絡調整できていないので、今後連携していけるよう改善を図ります。
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	3	現在までに左記の機関との連携は行えていません。相談支援員さんとの連携に留まっています。	就学前の園等との情報共有を行うことは出来ていないため、今後はスムーズに移行出来る様に連携を取って行きたいと思っています。
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10		障害福祉サービス事業所へ、ご本人や保護者様と一緒に見学へ行ったり、進学先が決まれば情報提供をしています。	今後も学校から卒業し、福祉サービス等への移行となった場合はこれまでの支援内容等を伝達し情報共有していきたいと思います。
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	3	管理責任者が各関係機関と連携を取り合い、連携出来ており、これまで主催する研修にも参加させて頂いております。	今後も連携し、研修の機会があれば積極的に参加してまいります。

	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	3	7	現在まで児童クラブや児童館との交流はありません。	平日は時間帯的にも難しい。土曜日や長期休暇を利用して、障害のないお子様との交流の機会がつかれないものか今後、検討していきます。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	6	4	現在まで自立支援協議会等への参加はありません。	今後、機会があれば積極的に参加していきます。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		連絡帳でのやり取りや送迎時に直接お話をさせて頂いています。内容によってはお子様の送迎前に電話でお伝えしています。	お子様の自尊心を守るため、ご本人の目に触れたり耳に入ることを無いうように配慮し、課題を保護者様にお伝えします。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	3	相談や電話などで相談、助言等をさせて頂いています。ペアレントトレーニングは行っていません。	今後行っていけるよう検討します。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		ご利用契約時に契約者をお渡しし、重要事項説明書に沿って説明し、変更があればその都度説明させて頂いております。	今後もその都度、変更や問い合わせがあればご説明させて頂きます。
保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		年に2回の懇談の際に子どもの様子や課題、苦手、問題点などを事細かくお話しし、ご本人や保護者様の移行を確認しています。懇談だけではなく送迎時や連絡帳など、その都度ご要望があれば伺い、意向を確認しながら支援をすすめています。	今後もご本人や保護者様の意向を確認しながら支援方法を考えていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10		半年に1度懇談でお子様の課題を洗い出し、ご要望に沿ったサービス計画を作成します。ご確認後、問題がなければ署名をして頂いています。	今後もご家庭との連携を図れるよう、お子様の成長、自立に向けて支援内容の丁寧な説明に努めて参ります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		年2回、懇談を実施しています。また、日々の連絡帳やメールやお電話などでもお子様に対するご相談を常時お受けしています。	引き続き保護者様の気持ちに寄り添い、必要であれば学校や各関係機関に迅速に繋いでいきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	3	コロナ禍で開催出来ていませんでしたが、現在保護者会を計画しています。	保護者会の開催を計画中です。今後も定期的に保護者会を開催していけるよう改善を図ります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		普段は連絡帳、送迎時、電話、メール等や懇談でご意見や苦情を伺っております。翌日ミーティングにかけ対策、改善に早急に取りかかります。苦情の内容、改善策は全職員で共通理解を図っております。	苦情の無いよう努力すると共に、その対応に関して速やかかつ適切に行い、改善に繋げるよう努めて参ります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10		毎月中旬にプログラムを配布して行事予定をお知らせしております。また行事ごとに詳細を配布し、活動概要をお伝えしております。一週間に一度のプログラム更新を心掛け、子ども達の日々の様子を伝えられるように努めています。	より細やかな情報提供が出来る様、配布プログラム、プリントを工夫していきます。ブログ配信にも努めて参ります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		ケース記録に個人情報をまとめ、鍵の掛かる保管庫で管理しています。全職員に守秘義務を徹底しております。個人の配布物に関しては送迎時に直接手渡し、もしくは連絡帳袋に配布、誤配のないようにチェックを徹底しております。	今後も全職員が守秘義務を徹底し、写真の掲載に際しても個人が特定されることのないよう写真を加工するなどして個人情報の保護を徹底していきます。配布物の誤配がないように複数目でチェックしていきます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		日々の連絡帳やプリント、電話、メール等で保護者様との意思疎通、情報での伝達に努めています。お子様には口頭での説明や掲示物、板書等の口情報で繰り返し伝えたり、視覚支援も使用してわかりやすく伝えるよう心掛けています。	引き続き、それぞれのお子様の特性や保護者様に配慮し、気持ちに寄り添った事業所であるように意思疎通や情報伝達を行っていきたく思います。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10		毎年、夏祭りを開催し、地域住民に案内を配布して交流を図っておりますが、今年度もコロナ禍の影響で自粛したため実施出来ませんでした。	開催出来る状況になりましたら実施し、地域に開かれた事業所を目指していきます。
	非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		各マニュアルを作成しております。緊急時マニュアルは毎年4月に配布しております。感染症マニュアルはコロナ禍の影響もあり、日々変わっている為、その都度お手紙で配布しております。
47		業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		年間4回、火災、地震、津波を想定して視覚・聴覚にも分かり易い避難訓練を実施しています。多くのお子様に参加して頂けるよう曜日の固定はせずに行っております。紙芝居を使用してお子様によりやすく、興味を持って頂けるように工夫しています。	職員、子ども達共にいつ来るかわからない災害に備えて、防災意識を高めていけるような訓練を工夫して実施していくよう努めて参ります。長期休暇を利用して、平日避難訓練に参加出来ないお子様に対しても実施していきます。
48		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10		契約時に服薬や持病について確認をとり、その対応について保護者様の指示を仰ぎ全職員に周知しています。予防接種については確認していません。	契約時や感染症の流行する時期に予防接種についても確認していけるよう改善を図ります。
49		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		契約時にアレルギーの確認を行い、医師の診断書コピーやアレルギー検査結果のコピーを頂いております。おやつ提供時やクッキングに使う食材はアレルギーを確認して提供しております。	今後も注意して適切に記録、対応していきます。
50		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10		外出時や長期休暇時など、タイムスケジュールやグループ分け、担当職員など記載した計画を作成しています。	研修や訓練などが不十分であるため、今後改善を図ります。
51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10		安全計画を作成し、子どもの安全確保は出来ているが、家族様との連携や周知するところまでは出来ていない。	ご家族様への周知には至っていないので、今後周知していけるよう対応して行きます。	

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		ヒヤリハット報告書を作成し、ミーティングでも報告。問題点を解決できるように職員同士で情報共有し検討して改善に努めます。	今後もヒヤリハットを事業所内で共有し、改善に努め、よりよい支援をしていけるように努めて参ります。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		厚生労働省発行の障害者福祉施設等における障害者虐待の防止と対応の手引きを元に、社内にて研修を行っております。何気ない関わり方について振り返り、それが虐待に当たってないか等考える機会としました。	今後も全職員に虐待防止の研修を実施し、日々の関わり方を検証することで、職員相互で虐待防止意識を高めていきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10		現在該当する児童はいません。	今後も、やむを得ず身体拘束の必要性が生じた場合は当事者や保護者側に事前に十分な説明と了解を得た上でサービス計画に記載します。